

課税危機乗り越えよう

経営協大会に1200人参加

全国社会福祉法人経営者協議会（高岡國土会長）は5・6両日、福島県内で全国社会福祉法人経営者大会を開き、約1200人が参加した。高岡会長は初日の基調報告で社会福祉法人への課税論議が進んでいることに触れ、「課税されたら社会福祉法人制度が崩壊する可能性がある。困るのは社会的弱者だ。私は胸を張って誇りを



基調報告する高岡会長

持って反対していきたくない。この難局を乗り越えよう」と話した。一方、社会福祉法人が何をしているのか見えないとの指摘があることにも触れ、「地域に還元する仕組みを見える形にしないと、社会福祉法人を守るとい

う発想だけでは通用しない」とした。大会会場となった展示・会議施設「ビッグパレットふくしま」（郡山市）は、東日本大震災後、ピーク時に約2500人が避難した場でもあり、高岡会長は協会として引き続き復興支援に取り組み決意を表明した。開会式には斎藤十朗・全国社会福祉協議会長、佐藤雄平・福島県知事らが参列し、原発事故の影響を受けた福島県の実情に言及。会場のロビーには県内の福祉施設の現況を写真で紹介するコーナーが設けられた。